

# みんなで仲良くやっぺ ふるさと富屋



平成27年 2 月

富屋地区まちづくり連絡協議会  
(富屋地区地域ビジョン策定委員会)



「御嶽山神社からの景色」 晃陽中学校 3年 斎藤亮太さん

## 目 次

◇ 富屋地区のシンボル	1
1 地域ビジョン策定の趣旨	2
2 富屋地区の変遷と展望	3
3 富屋地区まちづくり連絡協議会の発足と事業成果	4
4 富屋地区の魅力	6
5 富屋地区の問題点（住民アンケートから）	7
6 地域ビジョン重点項目	9
(1) 富屋の元気度アップ	10
(2) 地域コミュニティの強化	11
(3) とみやブランドの推進	12
(4) 子どもの健全育成	13
(5) 歴史・文化遺産の継承	14
(6) 地域スポーツの振興	15
(7) 自然・生活環境の美化	16
(8) 地域安全の確保	17
(9) 健康づくりの推進	18
(10) 高齢者の生きがいと地域福祉の推進	19
◇ 地域ビジョンを実行するための市への期待	20
◇ 地縁団体・目的団体事業計画作成参考様式	21
7 参考資料	22
・富屋地区地域ビジョン策定委員会設置要領	23
・富屋地区地域ビジョン策定の経過	25
・富屋地区地域ビジョン策定アンケート結果	26
・富屋地区地域ビジョン策定委員名簿	28

### 富屋地区地域ビジョン

発行年月日 平成 27 年 2 月 1 日  
発 行 者 富屋地区まちづくり連絡協議会  
          (富屋地区地域ビジョン策定委員会)  
          事務局：富屋地区市民センター内  
          ☎ 028-665-0002, 1663  
印 刷 所 株式会社 井上総合印刷

# 富屋地区のシンボル

## シンボルマーク



【平成16年2月2日制定】

図案の意味は、左側の半円状の「と」が『富屋』を表しています。

また、右側の3本の曲線は清流『田川』を、中央の縦長の三角形は、富屋のシンボル、智賀都神社の『夫婦けやき』を表現しています。

色は「と」が富屋の大地を示す茶色、3本の曲線は澄みきった田川を示す青色、中央の三角形はけやきの新緑を示す緑色です。

## 花 「ヤマザクラ」

【平成18年3月24日制定】



日光街道のヤマザクラは、全国の桜名所100選に選ばれており、桜の名所です。毎年4月中頃には、桜の花が満開となり、花のトンネルは圧巻です。

## 木 「ケヤキ」

【平成18年3月24日制定】



智賀都神社の夫婦ケヤキと上徳次郎のケヤキは、樹齢が共に700年を超える古木です。

富屋地区にはこのほかに、数多くのケヤキが分布しています。

## 鳥 「キジ」

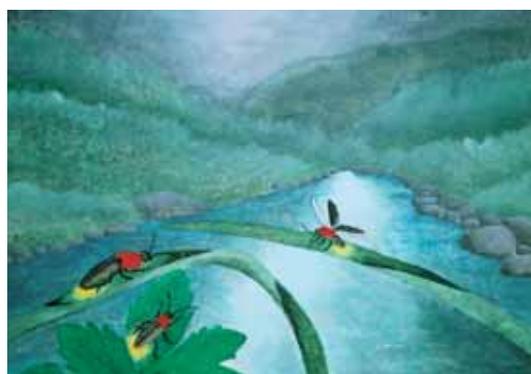
【平成18年3月24日制定】



色鮮やかで端正な姿、ケンケンと大きな声で鳴くキジは、富屋地区内の人里に数多く生息しています。春先には雌雄揃って、歩く姿が見られます。

## 虫 「ホタル」

【平成18年3月24日制定】



三方を山に囲まれた富屋地区は、自然の宝庫で、ホタルの生息地になっています。毎年6月頃には、あちこちでホタルの幻想的な光が見られます。

# 1

## 地域ビジョン策定の趣旨

### 富屋地区地域ビジョン策定の方針

- 1 このビジョンは、富屋地区が明るく元気で、住みやすく、魅力あふれるまちにするため、将来（10年後）の目標や重点課題、具体的な計画を定めるものです。ビジョン策定期間は、平成25年度～26年度の2か年間です。
- 2 富屋地区には既に、「富屋地区まちづくり5つの目標」（平成17年制定）があり、これらの目標に沿って地域づくりを進めてきたことから、今後もこの目標を基本にしながらビジョンを策定します。
- 3 地域ビジョン策定に当たっては、地域住民の理解と総意を得ることが極めて大切であることから、全住民に対し、ビジョン策定の趣旨説明やPR活動を行うとともに、住民アンケートを行います。
- 4 富屋地区まちづくり連絡協議会を構成する各自治会、各目的団体、各公的団体の意見、要望をビジョンに反映させるため、それぞれにヒアリングを行います。
- 5 ビジョン策定を効果的に行うため、富屋地区まちづくり連絡協議会の下に設置した「富屋地区地域ビジョン策定委員会」において、アンケートやヒアリングをもとに、住民の意向、意見、要望などを取りまとめ、総合的に将来の目標や課題、事業計画を策定します。

### 富屋地区まちづくり 5つの目標

- 1 住民一人一人が主役になって、明るく活力のあるまちを築こう
- 2 あいさつをかわし、声かけ合って、思いやりのあるまちにしよう
- 3 美しい自然を守り、先人の残した文化遺産を次世代に伝えよう
- 4 高齢者の知恵を活かし、子供の夢と自立心を育てよう
- 5 災害に強い、事故のない、安心・安全なまちをつくろう

（平成17年5月21日制定）

## 2

# 富屋地区の変遷と展望

### (1) 富屋地区の変遷

私たちの郷土富屋地区は、明治22年に徳次郎6ヵ郷と近隣5か村が合併して富屋村が生まれ、その後、昭和29年に宇都宮市に編入合併した。

昭和40年代の高度経済成長期には、自動車の普及とともにハイウェイの時代を迎え、当地区内に東北自動車道が走り、宇都宮インターチェンジが設けられた。また、昭和51年には日光宇都宮道路が開通し、併せて徳次郎インターチェンジが開設された。その後、平成15年には宇都宮北道路が開通するなど、日光と宇都宮、首都圏と東北地方を結ぶ交通の要衝となってきた。

産業については、かつては農業が基幹産業であり、水稻を中心にニンジン、ゴボウ、ネギが特産物であったが、現在はイチゴやトマトなどの園芸作物に転換している。また、水田の大規模・区画化を進めるほ場整備については、昭和60年以降、富屋各地で進められてきた。商工業については、かつての宿場町を引き継いだ商業が盛んな時代もあったが、現在は衰退している。地区内に大きな工場はなく、中小規模の製造業、食品産業が立地している。なお、観光業としては宇都宮動物園、ただおみ温泉が営業し、観光農園も見られる。

当地区は都市計画上、市街化調整区域のため、人口の自然増は期待できないが、昭和42年に徳次郎町内に540戸の市営山王住宅が建設され、その後、平成6年から建て替えが行われ、平成19年には近代的な建物（中層棟）が整備された。

当地区の世帯数については、過去20年間の推移では、市営山王住宅の建て替えなどもあり、やや増加傾向（平成4年1,296世帯→平成24年1,577世帯）にあった。しかし、人口は大幅に減少（平成4年4,737人→平成24年→4,305人）しており、1世帯当たりの家族数は、3.7人から2.7人になっている。

また、60歳以上の人口が全人口に占める割合は、過去10年間で28%から37%に増加しており、当地区においても高齢化の進行が顕著である。

### (2) 富屋地区の展望

富屋地区には豊かな自然と美しい田園風景、農村景観があり、多くの史跡や歴史的建造物、文化財が現存している。今後はこれらの多彩な地域資源と観光を結びつけた、新たな産業の創出が期待される。

また、当地区には福祉・医療施設が充実し、道路網が整備されている。このため、人々が心安らぎ、健康を取り戻すことができる保健、福祉の拠点地域として、発展するものと思われる。更に基幹産業である農業については、農業後継者が収益性の高いイチゴやトマト、果物、花きなどに積極的に取り組んでおり、西部地区の農業者の間では近隣のろまんちっく村農産物直売所に向け、リアルタイムで農産物を出荷するなど、農業の取組が意欲的である。

富屋地区のまちづくりについては、自立自助、住民主役を基本とした過去10年の活動実績の上に立って、今後とも住民の創意工夫を活かした、活気あふれる活動が期待される。

# 3

## 富屋地区まちづくり連絡協議会の発足と事業成果

### (1) まちづくり連絡協議会発足の背景

- ① 宇都宮市の住民行政の政策転換、地域づくりは地域住民が主体的に行う。
- ② 出張所と公民館が統合。富屋地区市民センターの開所（平成9年4月）
- ③ 富屋地区公民館の廃止（平成14年3月）。生涯学習センターの開設。
- ④ 富屋地区コミュニティ協議会の発展的解消（平成15年6月）

### (2) まちづくり連絡協議会の目的と事業内容

- ① 平成15年6月19日、富屋地区まちづくり連絡協議会設立。
- ② 本協議会の目的とするところは、富屋地区内の各種団体及び関係機関と連絡調整を図り、実践活動（地域の課題や活性化活動）を通して、まちづくりに寄与する。
- ③ 本協議会の組織は、地縁団体（自治会）、目的団体、公的機関、学識経験者等で構成。
- ④ 目的達成のため、次の事業を掲げている。
  - ア まちづくりの調査、研究
  - イ 団体相互及び関係機関との情報交換、連絡調整
  - ウ 地域活性化のための啓発及び実践活動
  - エ 行政施策への提言、事業実施上の調整、要請運動

### (3) これまでの事業成果

年 度	事 業 内 容
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 協議会の設立。地区内の各種団体、関係機関の大同団結と連携強化</li> <li>② 時代の要請に応じた組織の設立               <ul style="list-style-type: none"> <li>○富屋地区防災会</li> <li>○富屋地区婦人防火クラブ</li> </ul> </li> <li>③ 住民主体の事業の展開               <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報とみやの発行</li> <li>○シンボルマーク制定</li> <li>○富屋再発見歩け歩け大会</li> <li>○とみやホームページ検討</li> </ul> </li> </ul>
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 富屋の風景と遺産50選の制定</li> <li>② 地域伝統文化の支援（徳次郎智賀都神社夏祭り支援）</li> <li>③ 徳次郎夏祭り写真コンテストの開催</li> <li>④ 二宮堰公園の清掃活動開始</li> </ul>
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 『富屋地区まちづくり5つの目標』の制定</li> <li>② 富屋のシンボル（花・木・鳥・虫）の制定</li> <li>③ 富屋地区まちづくり懇談会の開催</li> <li>④ 環境部会代表者会議の開催</li> <li>⑤ 市と協働により廃棄物不法投棄監視パトロールの開始</li> </ul>

平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 宇都宮市長を囲む「まちづくり懇談会」の開催</li> <li>② 地域イベント（とみやふるさとまつり）の内容充実</li> <li>③ そば打ち交流会の開催</li> <li>④ 富屋の風景と遺産50選ガイドマップの作成</li> </ul>
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門部会の強化</li> <li>② 高齢者と児童のふれあい交流会の開催</li> <li>③ 富屋地域学講座の開催</li> <li>④ 地区防災マップの作成</li> <li>⑤ 宇都宮市最優秀市民憲章の表彰受賞</li> </ul>
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門部会活動内容の充実</li> <li>② とみやそばまつりの開催</li> <li>③ 広報とみやの充実（一部カラー化）</li> <li>④ とみやふるさとまつり組織の一本化</li> </ul>
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門部会活動の拡充</li> <li>② とみやそばまつりの充実</li> <li>③ 広報とみやの縮刷版（1号から50号）の作成</li> <li>④ 災害時における要援護者「富屋地区支援班」の設置</li> </ul>
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 宇都宮市長を囲む「まちづくり懇談会」の開催</li> <li>② 交通部会の設置（地域内交通の導入に係る検討）</li> <li>③ 富屋地区「屋号調査」の実施・報告</li> <li>④ ホタルマップの作成</li> </ul>
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① まちづくり懇談会の開催（第5回）</li> <li>② 地域内交通の導入に係る検討（再アンケートの実施等）</li> <li>③ とみやそばまつりの充実</li> </ul>
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① まちづくり連絡協議会10周年記念事業の開催</li> <li>② まちづくり連絡協議会10周年記念誌の発行</li> <li>③ 地域内交通試験運行の開始</li> </ul>
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 富屋地区地域ビジョン策定委員会の設置</li> <li>② 地域内交通本格運行の開始</li> </ul>
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 富屋地区地域ビジョンの策定</li> </ul>

# 4

## 富屋地区の魅力

### (1) 地域住民が意識している富屋地区の魅力

- ① 自然が豊かである。四季を感じる。
- ② 静かである。ほどよく田舎で住みやすい。
- ③ 災害が少ない。
- ④ 素朴で心が優しい。人情味がある。
- ⑤ 人間関係がよい。仲がよい。連帯感・協力心がある。
- ⑥ あいさつがよくできている。特に子供たち。
- ⑦ 交通の便に恵まれている。
- ⑧ 医療機関が多い。
- ⑨ 各種行事、伝統行事が多い。
- ⑩ 史跡、文化財が多い。彫刻屋台がすばらしい。

### (2) 外部から見た富屋地区の魅力

- ① 自然が豊かで野生動物、野鳥、昆虫、魚類など、多くの生き物が生息している。
- ② 山林、農耕地、河川、水路が連なり、四季を通じて美しい景観が形成されている。
- ③ 日光街道、徳次郎宿跡、智賀都神社など、全国に誇る名所、史跡が多数現存している。
- ④ 江戸期建造の彫刻屋台など、伝統ある民俗文化財が残り祭りが行われている。
- ⑤ 全国的に著名な宇都宮動物園があり、貴重な動物が飼育されている。
- ⑥ 2本の国道、2本の高速自動車道、2つのインターチェンジがあり、道路交通の要衝になっている。
- ⑦ 地区内に公的機関、学校、病院、福祉施設など多くの施設が立地し、宇都宮市北部における拠点地区となっている。

### (3) 富屋地区が誇る史跡と文化財

- ① 古社智賀都神社と名木のケヤキ
- ② 名僧妙哲禅師と名刹伝法寺
- ③ 開宿400年を迎える宿場町
- ④ 農聖二宮尊徳の足跡
- ⑤ 名工の逸品徳次郎六ヶ郷の彫刻屋台
- ⑥ 国登録文化財の宇都宮水道今市水系第六接合井
- ⑦ 徳次郎正宗を生んだ下野刀工発祥の地
- ⑧ 全国桜の名所百選に選ばれた日光街道桜並木
- ⑨ 豊かな自然、宇都宮アルプス（篠井・富屋連峰）
- ⑩ 高級石材として珍重された徳次郎石
- ⑪ 郷土の人物、小堀貞吉、入江熊三郎、入江喜作

# 5

## 富屋地区の問題点（住民アンケートから）

### (1) 地域社会の現状認識

- ① 人口、世帯数が減少している。
- ② 少子化、高齢化が進んでいる。
- ③ 核家族化が進んでいる。独居老人が増加している。

### (2) 地域の風潮

- ① 地域が活性化していない。今も昔も変わらない。
- ② 元気がない。
- ③ 保守的である。改革がされていない。

### (3) 自治会・共同組織

- ① 自治会役員のなり手が少ない。役員の負担が多すぎる。
- ② 農家出身の役員が多い。農家・非農家の協調性が足りない。
- ③ 世帯数が減少し、前向きの活動ができない。
- ④ 地域内、隣同士の交流が少ない。つながりが薄い。周知は回覧板のみ。
- ⑤ 新しい家と既存の家の温度差がある。
- ⑥ 世代間のギャップが大きく、意思の疎通が十分できていない。
- ⑦ 組の世帯数が多く、回覧板が一巡するのに日数がかかる。
- ⑧ 自治会、地域活動に対する協力心が足りない（休日でも参加が少ない）。
- ⑨ 女性の活躍（参加）する機会が少ない。
- ⑩ 自治会費について不満がある（会費が高い。強制的な寄付、集金があるなど）。
- ⑪ 自治会非加入者にも、加入者同様、情報提供を行わざるを得ない。
- ⑫ 昔からの行事が多く、農家・非農家との関わりが難しい。
- ⑬ 自治会の住民への情報伝達、役員同士の意思疎通が十分でない。

### (4) 地区・自治会の行事

- ① 地域住民みんなで楽しめる事業、行事がない。
- ② 地区の行事、催し物への参加者が少ない。特に若者の参加が少ない。
- ③ 体育祭、球技大会の参加者、協力者が少ない。
- ④ 地区住民の交流の機会が少ない。
- ⑤ 地区行事への参加者が固定化し、同じ住民になりがちである。
- ⑥ 行事への参加や役が多すぎる。

### (5) 目的団体活動

- ① 目的団体の活動がマンネリ化（前年踏襲）している。参加者が消極的、固定化。
- ② 地域各種団体において加入者が減少し、高齢化している。
- ③ 特に婦人会、くるみ会、JAみどり会への新規加入者がいない。
- ④ また消防団のなり手がなく、活動に支障をきたす恐れがある。
- ⑤ 団体同士の横の連携が弱い。事業が重複している。
- ⑥ 各団体の情報発信力が欠けている。PRが不足している。

### (6) 産業の振興、就業機会の確保

- ① 農業後継者が減少し、農業が衰退している。
- ② 近くに働く場所がない。

(7) 地域開発・商業施設の誘致

- ① 宇都宮インターチェンジ付近が有効活用されていない。
- ② 近くに商業施設、大型スーパーマーケットがなく不便である。

(8) 公共施設

- ① 公共施設（憩いの場）がない。大きな公園がない。子供の遊び場がない。
- ② 現在の公園に時計、トイレがない。
- ③ スポーツ施設がない。
- ④ 銀行がない。

(9) 住居

- ① 市街化調整区域のため、住宅が建てられない。

(10) 道路

- ① 日光街道の歩道が狭く危険である。側溝にふたがない。
- ② 通学路に街灯がなく暗い。
- ③ 見通しの悪い所がある。カーブミラーが少ない。
- ④ 道路がでこぼこして不備なところがある。
- ⑤ 林道の整備が遅れている。

(11) 交通

- ① 交通手段が少ない。
- ② 車がないと交通が不便である。特に高齢者は交通弱者である。
- ③ わくわくとみや号が祝日、日曜日に運行されないのは不便である。
- ④ バス料金が高く負担になる。
- ⑤ 車の運転マナーがよくない。乱暴、スピードの出し過ぎなど。

(12) 自然環境・衛生

- ① 野焼きによって悪臭がする。
- ② 一斉清掃の参加者が固定化している。
- ③ 青地、共有地、耕作放棄地等で雑草が繁茂している。
- ④ ごみ出しの際、ルールが守られていない。
- ⑤ 河川や山林、道路にごみが見受けられる。

(13) 治安・防災

- ① 不審者が出ることがある。
- ② 山王団地周辺の夜が暗い。
- ③ 野良犬がいて危ないことがある。
- ④ 防災の意識が希薄である。

(14) 福祉

- ① 独居老人の孤独死が起きている（山王団地に事例あり）。
- ② 高齢世帯のきめ細かな情報が入手できていない。
- ③ ふれあい会食の出席者が少なく固定化している。

# 6

## 地域ビジョン重点項目

地域住民及び小中学生を対象としたアンケート調査や各自治会、目的団体に対するヒアリングの検討結果、さらにはビジョン策定委員会の意見等を踏まえ、富屋地区まちづくり5つの目標を基本に、富屋地区で今後取り組むべき地域ビジョン重点項目を設定した。

- (1) 富屋の元気度アップ
- (2) 地域コミュニティの強化
- (3) とみやブランドの推進
- (4) 子どもの健全育成
- (5) 歴史・文化遺産の継承
- (6) 地域スポーツの振興
- (7) 自然・生活環境の美化
- (8) 地域安全の確保
- (9) 健康づくりの推進
- (10) 高齢者の生きがいと地域福祉の推進

### [ 備 考 ]

- 1 各重点項目の設定に当たっては、当該項目の事業を
  - ① どの団体が
  - ② 新規事業か継続事業かを踏まえ
  - ③ いつまでに実施するのかを明記した。
- 2 各重点項目の下に記載した「団体名」は、当該事業を中心になって推進する団体である。
- 3 「新規」は新規事業、「充実」は見直し充実を図る継続事業の意味である。
- 4 A・Bの記載は、「A」は3年以内に事業実施、「B」は10年以内に事業実施とした。

# (1) 富屋の元気度アップ

【富屋地区まちづくり連絡協議会】

【富屋地区婦人会・富屋地区くるみ会・富屋地区農協みどり会】

【富屋地区活力あるむらづくり推進協議会】

## ◎ 富屋地区がめざす地区の元気度の目標

☆誇りのもてる個性豊かなまち

☆住民が生きがいを感じるまち

☆魅力あふれるまち

☆夢と活気あふれるまち

## ◎ 具体策

### 1 住民人口の増加（新規・B）

① 地区内への企業誘致

② 地区内に住宅建築の奨励

③ 若者の定住化の促進

### 2 地区の新たなシンボルの制定（新規・A）

① 地区ゆるキャラの募集と制定

② 地区の歌、踊りの制定

### 3 地区の活性化策（新規・充実A）

① 地区全住民参加の行事（盆踊り、屋台祭りなど）の開催

② イベントを企画する人材の育成

③ ジュニアリーダー（中・高校生）の育成

④ ふるさとまつりの充実

⑤ そばまつりの充実

### 4 広報活動の強化（充実・A）

① 広報とみやの発刊

② ホームページの立ち上げと情報提供

③ 地区行事、祭りのマスコミへの情報発信

④ とみやカレンダーの作製、配布

### 5 自治会、団体、関係機関との連携強化（充実・A）

① まちづくり懇談会の開催

② まちづくり専門部会議の開催



## (2) 地域コミュニティの強化

【各自治会】

### ◎ 富屋地区がめざす地域コミュニティの目標

- ☆地域住民の絆と相互扶助の強化
- ☆住民同士のコミュニケーションの充実
- ☆住民と行政の協働の力による地域の問題解決
- ☆世代を超えた住民の交流
- ☆元気で楽しい自治会の運営と活動

### ◎ 具体策

#### 1 自治会の合い言葉、シンボルマークの制定（新規・A）

- ① 合い言葉の募集、制定
- ② シンボルマークの募集、制定

#### 2 女性の積極的な登用と組織化（新規・B）

- ① 女性の自治会役員の登用
- ② 女性の組織化と活動の支援

#### 3 あいさつ、コミュニケーションの推進（充実・A）

- ① あいさつの推進
- ② 1人暮らし高齢者への声かけの推進
- ③ 自治会広報紙等の発刊

#### 4 魅力ある自治会行事の開催（充実・A）

- ① 自治会自慢の行事の開催（そばまつり、敬老会、どんどん焼きなど）
- ② みんなが集う世代間交流行事の開催（農作物収穫体験、昔遊び、花の植栽、ラジオ体操など）

#### 5 自治会公民館の開放（充実・A）

- ① 定例的な公民館の開放と利用の促進
- ② 自治会公民館を利用した講座の開催



## (3) とみやブランドの推進

【富屋地区まちづくり連絡協議会】

### ◎ ブランド確立に向けた計画の策定（新規・A）

☆ブランド確立推進組織の設立

☆ブランド確立推進計画の策定

### ◎ 具体策

#### 1 資源の発掘と富屋ブランドの選定（新規・A）

① 富屋の資源（自然、文化財、景観、農産物、加工品など）の発掘、リストアップ

② 富屋の自然、景観などの写真の募集、展示

③ 富屋ブランドの選定

#### 2 ブランド確立に向けたイベントの開催、新商品開発（新規・B）

① ホタルの里づくりとホタル祭りなどの開催

② 地区農産物、加工品PRのための富屋夕市の開催

③ 地区農産物を使った新商品の開発

④ 地区B1グルメ大会などの開催

#### 3 観光マップの作製と誘客促進（新規・B）

① 富屋観光マップの作製

② 富屋観光案内板の作製

③ 富屋の屋号の活用

④ 富屋観光ガイドの育成

⑤ ろまんちっく村、宇都宮動物園と連携した観光客の誘致活動の推進

#### 4 農業関係者の組織化（新規・B）

① 農業関係者の交流と連携の促進



## (4) 子どもの健全育成

【富屋地区青少年育成会】 【晃陽中学校PTA】 【富屋小学校PTA】

### ◎ 富屋地区がめざす子ども育成の目標

- ☆素直できまりをしっかり守れる子どもの育成
- ☆学ぶ心と自立心をもった子どもの育成
- ☆健康で体力のある元気な子どもの育成
- ☆思いやりと親切心のある子どもの育成
- ☆地域に貢献できる子どもの育成

### ◎ 具体策

#### 1 地域の交流を通じた子どもの健全育成（充実・A）

- ① 子どもたちへのあいさつの励行
- ② 家庭の日（毎月第3日曜日）の親子行事の推進
- ③ 富屋地区子どもフェスティバルの開催
- ④ 他地区青少年との交流活動の推進
- ⑤ 親子清掃活動の推進

#### 2 元気あふれる子どもの健全育成（充実・A）

- ① 健康ハイキング
- ② 花いっぱいコンクール
- ③ たこ作り、たこあげ大会
- ④ 里山の保全とこれを活用した遊びの場の開放
- ⑤ 環境点検活動
- ⑥ リーダー養成講習会
- ⑦ マスつかみ大会

#### 3 晃陽中における子どもの健全育成（充実・A）

- ① 学力の向上
- ② 体育祭における世代間交流
- ③ 地元農産物、食材の給食への提供
- ④ いじめの防止
- ⑤ 文化祭における地産地消の推進

#### 4 富屋小における子どもの健全育成（充実・A）

- ① 学力の向上
- ② 収穫祭の支援
- ③ 親子ふれあいキャンプ
- ④ いじめの防止
- ⑤ ファイトとみや支援
- ⑥ 世代間交流



## (5) 歴史・文化遺産の継承

【富屋地区まちづくり連絡協議会】

【徳次郎町6自治会】 【徳次郎智賀都神社夏祭付祭屋台保存会】

【徳次郎お囃子保存会】 【上横倉獅子舞保存会】

### ◎ 富屋地区がめざす歴史・文化遺産の目標

☆地区の歴史、文化財、史跡の保存と継承

☆地区の歴史の学びと普及

☆伝統文化、祭り、伝統行事の改革と継承

☆伝統文化の担い手の育成

☆祭り、行事の積極的な情報の発信

### ◎ 具体策

#### 1 富屋の歴史・文化の振興（充実・A）

- ① 富屋学講座の開催
- ② 富屋の史跡・文化財案内板の設置
- ③ 富屋の祭りのPRと見学会の開催
- ④ 富屋の歴史・文化財ガイドの発刊
- ⑤ 音楽に親しむ集いの開催

#### 2 屋台祭りの活性化（充実・A）

- ① 屋台祭りの活性化
- ② 彫刻屋台の修復と保存
- ③ お囃子の伝承と後継者の育成

#### 3 獅子舞の伝承（充実・A）

- ① 獅子舞の後継者の育成
- ② 市内獅子舞保存団体との交流



## (6) 地域スポーツの振興

【富屋地区体育協会】

### ◎ 富屋地区がめざすスポーツ振興の目標

☆地域のニーズを踏まえた富屋スポーツ振興計画の策定

☆新たな地域住民参加のスポーツ大会の構想づくり

☆1人1スポーツの実践

☆スポーツ団体間の連携強化

### ◎ 具体策

#### 1 地域に根ざしたスポーツの振興（充実・A）

① 健康づくりハイキング

⑤ フェイトとみや

② 地区球技大会

⑥ 地区ソフトバレーボール大会

③ 高齢者体育大会支援

⑦ 市民スポーツ大会等への参加、協力

④ 地区スポーツ団体間の連携



## (7) 自然・生活環境の美化

【各自治会】 【富屋地区まちづくり連絡協議会】

### ◎ 富屋地区がめざす自然・生活環境の目標

- ☆豊かな自然環境の保全
- ☆多様な生き物の生息環境の保全
- ☆田園景観、農地、水路、農道の保全
- ☆不法投棄の防止

### ◎ 具体策

#### 1 自然環境の保全（充実・A）

- ① 住民参加の農地、水路、農道の保全、草刈り等の実施
- ② ホタル、カタクリなど貴重な生き物や植物の保護、増殖
- ③ 農村景観保全のための遊休農地の有効活用
- ④ 二宮堰公園・徳次郎城跡の環境の整備

#### 2 生活環境の美化、不法投棄の防止（充実・A）

- ① 市一斉清掃の実施
- ② 各地区沿道の花の植栽
- ③ 不法投棄の監視とパトロール活動の実践
- ④ 監視カメラの設置促進
- ⑤ リサイクルの推進



## (8) 地域安全の確保

【各自治会】 【富屋地区まちづくり連絡協議会】

【宇都宮市消防団富屋分団】 【富屋地区防災会】 【富屋地区婦人防火クラブ】

【交通安全協会富屋支部】 【富屋地区交通安全推進協議会】

### ◎ 富屋地区がめざす地域安全の目標

- ☆災害に強いまち
- ☆事故のない安全なまち
- ☆犯罪のない安心なまち
- ☆住民が安全を支え合うまち

### ◎ 具体策

#### 1 災害のないまちづくり（充実・A）

- ① 住民参加の防災訓練
- ② 防災学習の開催
- ③ 緊急災害時に備えた連絡網の整備
- ④ 各自治会における緊急避難場所の指定
- ⑤ 消防団員の確保と支援
- ⑥ 婦人防火クラブの加入の推進
- ⑦ 防災及び危険箇所を含めたマップの作成

#### 2 事故のないまちづくり（充実・A）

- ① 自動車運転、交通安全マナーの向上推進
- ② 交通安全の街頭指導
- ③ 通学児童・生徒の交通安全ボランティア活動の推進

#### 3 犯罪のないまちづくり（充実・A）

- ① 防犯、環境点検パトロールの推進
- ② 防犯看板の設置
- ③ 防犯ステッカーの作製と活用
- ④ 児童安全ボランティアの活動の推進



## (9) 健康づくりの推進

【富屋地区健康づくり推進協議会】 【富屋地区食生活改善推進員協議会】

### ◎ 富屋地区がめざす健康づくりの目標

- ☆健康で長生きの人生
- ☆病気の早期発見と早期治療
- ☆運動と休養、栄養の調和のとれた生活
- ☆健康になるための知識の普及と実践

### ◎ 具体策

#### 1 健康づくりの推進（充実・A）

- ① 健康診断受診の推進
- ② はつらつ健康教室の開催
- ③ 生活習慣病予防知識の普及
- ④ 親子、男性、シルバー料理教室の開催



## (10) 高齢者の生きがいと地域福祉の推進

【富屋地区老人クラブ連絡協議会】

【富屋地区社会福祉協議会、富屋地区民生委員・児童委員協議会】

【富屋地域内交通推進協議会】

【富屋地区社会福祉協力員連絡会】

### ◎ 富屋地区がめざす高齢者の目標

- ☆心身ともに元気で生き生きとした高齢者
- ☆社会に奉仕できる高齢者
- ☆次世代に知識と経験を伝えられる高齢者

### ◎ 富屋地区がめざす地域福祉の目標

- ☆地域が助け合う福祉
- ☆世代間が交流する福祉
- ☆家庭が協力し合う福祉

### ◎ 具体策

#### 1 高齢者の活動推進（充実・A）

- ① 高齢者体育大会
- ② 高齢者交流活動
- ③ 高齢者と児童の世代間交流
- ④ 環境美化奉仕活動

#### 2 地域福祉の推進（充実・A）

- ① 福祉関係機関及び福祉関係団体の連携強化
- ② 1人暮らし高齢者の見回り活動の推進
- ③ 地区及び自治会敬老会の開催
- ④ ふれあい会食の開催
- ⑤ 地域内交通の利便性向上と利用の促進



# 地域ビジョンを実行するための市への期待

## 1 制度・開発

- ・市街化調整区域の見直し
- ・宇都宮インターチェンジ付近の開発（企業誘致など）
- ・日光街道拡幅工事の完了時における、徳次郎宿のおもかげを残す案内板の設置

## 2 公共施設の整備

- ・徳次郎城の史跡、公園としての整備
- ・公共文化施設（図書館、公園など）の整備
- ・スポーツ施設（体育館、サッカー場など）の整備
- ・地籍調査の実施
- ・富屋をめぐる、特に田川沿いの遊歩道、サイクリングロードの整備
- ・親子交流体験の森の整備
- ・地区内に時報を告げるオルゴールの設置
- ・市民農園の開設
- ・防犯カメラの設置助成拡充

◇ 地縁団体・目的団体事業計画作成参考様式

## 地縁団体・目的団体事業計画書

作成年月日 平成 年 月 日

団 体 名			
代 表 者 名			
10 年 後 の め ざ す 目 標			
具 体 策	事業項目・事業内容等	新 規 ・ 充 実 の 別	A (3 年以内実施) B (10年以内実施)
備 考			

# 7

## 参考資料

- 富屋地区地域ビジョン策定委員会設置要領
- 富屋地区地域ビジョン策定の経過
- 富屋地区地域ビジョン策定アンケート結果
- 富屋地区地域ビジョン策定委員名簿



「富屋の田園風景」 晃陽中学校 2年 芳澤加奈さん



「思い出の場所」 晃陽中学校 3年 中山 護さん

# 富屋地区地域ビジョン策定委員会設置要領

## (目 的)

- 1 富屋地区の将来あるべき姿及びその実現に向けた取組を検討するため、富屋地区地域ビジョン（以下「地域ビジョン」という。）策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (構 成)

- 1 委員会は、富屋地区まちづくり連絡協議会（以下「協議会」という。）が設置し、委員は各種団体等から推薦された者、学識経験者、その他策定に当たり協議会が必要と認めた者（以下「策定委員」という。）で構成する。
- 2 策定委員の任期は2年とする。

## (委員長等)

- 1 委員会には、委員長1名、副委員長2名を置く。
- 2 委員長、副委員長は、策定委員の中から互選で選任する。
- 3 委員長は、委員会の運営・統括を行い、副委員長は、委員長の補佐、委員会の進行を行う。

## (事務局)

- 1 委員会には事務局を置き、事務局長は委員長が選任する。
- 2 事務局長は事務を掌る。
- 3 事務局には若干名の事務局員を置く。
- 4 事務局は富屋地区市民センター内に置く。

## (業 務)

- 1 策定委員会は、地域ビジョンの策定に当たり、次の業務を行う。
  - (1) 地域の意見等の取りまとめ
  - (2) 将来の構想及び計画づくり
  - (3) 地域まちづくりへの提言
  - (4) その他目的達成のための必要な事項

## (情報共有)

- 1 策定委員会は、地域ビジョン策定に当たり、地域住民への趣旨のPR、各種団体との調整を行うとともに、情報を共有し円滑な業務遂行に努める。

## (会 議)

- 1 策定委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 2 委員長が必要と認めるときは、協議会役員及び委員以外の者を会議に出席させ、説明若しくは報告又は意見を求めることができる。
- 3 策定委員会における経過及び結果については、協議会役員会等において報告する。

(情報公開)

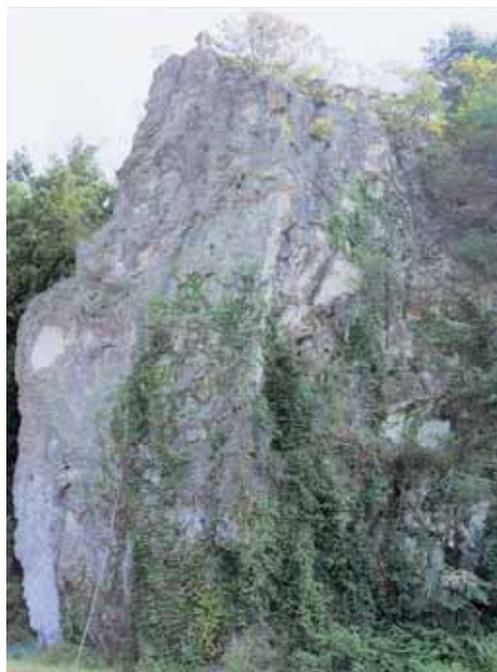
- 1 地域ビジョンの策定業務の進行状況等については、原則として公表するものとする。

(その他)

- 1 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要領は、平成25年9月24日から施行する。



「御嶽山神社の絶壁」  
晃陽中学校2年 高橋拓己さん▶



「彼岸花と富屋連峰」 晃陽中学校2年 中野百合根さん

# 富屋地区地域ビジョン策定の経過

平成 25 年 度			平成 26 年 度		
月	旬	取 組 内 容	月	旬	取 組 内 容
4	上 中 下	4.13 まちづくり総会においてビジョン策定を決議	4	上 中 下	4.12 まちづくり総会に、富屋地区のあるべき姿報告
5	上 中 下		5	上 中 下	5.14 第1回策定委員会 5.28 第2回策定委員会
6	上 中 下		6	上 中 下	6.12 ビジョン（案）策定に向けた取組開始
7	上 中 下		7	上 中 下	7.13 ビジョン講演会（住民参加のまちづくり） 7.30 まちづくり3役へビジョン（案）説明
8	上 中 下	8.1 ビジョン策定勉強会（住民総力結集のまちづくり）	8	上 中 下	8.19 第3回策定委員会 8.20 自治会長へビジョン（案）説明
9	上 中 下	9.24 第1回策定委員会（委員会発足）	9	上 中 下	9.1～11.30 心に残したい富屋の絵・写真募集
10	上 中 下	10.9 第2回策定委員会 10.25 住民アンケート配布	10	上 中 下	10.4 まちづくり全団体にに対するビジョン（案）説明会
11	上 中 下	11.10 広報とみや取組状況掲載 11.12～12.10 各団体ヒアリング 11.26 小中学校アンケート配布	11	上 中 下	広報とみや取組状況掲載 ビジョン冊子印刷発注
12	上 中 下	12.5 ビジョン講演会（富屋のまちづくり） 12.19 策定委員によるアンケート整理	12	上 中 下	12.17 第4回策定委員会
1	上 中 下	1.16 第3回策定委員会 1.19 地区まちづくり懇談会に経過報告	1	上 中 下	1.18 懇談会においてビジョン活用の重要性を説明
2	上 中 下	2.4 住民アンケート結果住民回覧 2.27 第4回策定委員会	2	上 中 下	ビジョン冊子完成
3	上 中 下	3.26 まちづくり役員会に経過報告	3	上 中 下	

※策定委員会事務局会議（役員・事務局）は、その都度開催した。

# 富屋地区地域ビジョン策定アンケート結果

平成25年11月に実施しました富屋地区地域ビジョン策定アンケートにつきましては、地区の皆様を始め、小中学生にも御協力をいただきありがとうございました。おかげ様で自治会では631世帯、小中学生は183名に御回答をいただきました。今回、その結果につきまして御報告するとともに、今後のビジョン策定の参考にさせていただきます。

富屋地区地域ビジョン策定委員会

## 1 住民アンケート・小中学生アンケート結果（選択方式回答）

住民【問1】 富屋地区は元気だと思いますか	1 元気	17%	住民【問4】 今後の近所づきあいをどう考えていますか	1 積極的に付き合う	26%
	2 どちらかと言えば元気	52%		2 ある程度付き合う	68%
	3 どちらかと言えば元気がない	26%		3 付き合いは考えていない	4%
	4 まったくない	3%		4 無回答	2%
	5 無回答	2%			
住民【問2】 人との結びつきをどう思いますか	1 強い	12%	住民【問5】 富屋地区に今後も住み続けたいと思いますか	1 住み続けたい	55%
	2 どちらかと言えば強い	38%		2 どちらかと言えば住み続けたい	28%
	3 どちらとも言えない	45%		3 どちらとも言えない	15%
	4 悪い	4%		4 他地区で住む	1%
	5 無回答	1%		5 無回答	1%
住民【問3】 住み心地をどう思いますか	1 とても良い	24%	住民【問6】 まちづくりへの参画をどう考えていますか	1 一人ひとりが参加すべき	49%
	2 どちらかと言えば良い	43%		2 リーダーが中心で参加すべき	29%
	3 どちらとも言えない	27%		3 行政がやるべき	15%
	4 悪い	4%		4 無回答	8%
	5 無回答	2%			

住民【問7】 趣味や特技をどう 考えていますか	1 まちづくりに 活かしている	10%	小中【問3】 通学や遊んでいる ときに危ない（怖い） と感じたことがありますか	1 ある	35%
	2 今後まちづくりに 活かしたい	45%		2 ない	64%
	3 ひとりで楽し みたい	32%		3 無回答	1%
	4 無回答	13%			
小中【問1】 近所の人に自分から 進んであいさつを していますか	1 している	75%	小中【問4】 大人になっても富 屋地区に住みたい と思いますか	1 住みたい	56%
	2 ときどき	23%		2 住みたくない	40%
	3 していない	1%		3 無回答	4%
	4 無回答	1%			
小中【問2】 町会や地区行事に 参加していますか	1 している	50%			
	2 ときどき	39%			
	3 していない	9%			
	4 無回答	2%			

## 2 住民アンケート・小中学生アンケート結果（記述方式回答）（主なる意見）

### (1) 富屋地区の魅力について

- ・自然が豊かで静か。住みやすい。
- ・人間関係がよい。
- ・医療機関が多い。
- ・史跡、文化財が多く、特に彫刻屋台は素晴らしい。
- ・自然災害が少ない。
- ・交通の利便性がよい。
- ・各種行事が多く楽しい。

### (2) 富屋地区現状や課題、問題点について

- ・人口が減少し、少子高齢化が進んでいる。
- ・地域が活性化していない。
- ・人間関係が希薄になっている。
- ・地域の各種団体（消防団、婦人会ほか）の新規加入者がいない。
- ・団体の情報発信力、PRが不足している。
- ・女性の活躍（参加）する機会が少ない。
- ・近くに商業施設（スーパーマーケット）がない。
- ・日光街道の歩道が狭く危ない。
- ・市街化調整区域のため、住宅が建てられない。
- ・憩いの場となる公共施設、公園がない。
- ・河川や山林に不法投棄のごみがある。
- ・耕作放棄地、共有地に雑草が繁茂している。

# 富屋地区地域ビジョン策定委員名簿

役職	所属団体等名称	氏名
1 委員長	学識経験者	池田 貞夫
2 副委員長	富屋地区連合自治会	大嶋 幸夫
3 副委員長	晃陽中学校PTA	中山 亜紀子
4 委員	富屋地区まちづくり連絡協議会	山口 豊彦
5 委員	富屋地区青少年育成会	柴崎 俊幸
6 委員	富屋地区体育協会	鈴木 誠
7 委員	富屋地区婦人会	金田 千明
8 委員	富屋地区防犯協力会	小杉 哲男
9 委員	富屋地区老人クラブ連絡協議会	井沢 知子
10 委員	活力あるむらづくり推進協議会	池田 富男
11 委員	山王幼稚園保護者会	池田 文武
12 委員	徳次郎保育園保護者会	竹原 靖彦
13 委員	富屋小学校PTA	池田 通明
14 委員	富屋・篠井地域包括支援センター	近藤 貴子
15 委員	J A うつのみや	床井 康一
16 委員	富屋地区認定農業者連絡協議会	池田 保夫
17 委員	富屋地区商工業者	小池 清己
18 委員	J A 栃木青年部連盟	宮本 高之
19 委員	前富屋地区市民センター	秋山 恵子
20 委員	富屋地区市民センター	松本 立男

## 事務局

役職	氏名	備考
局長	相羽 仁司	まちづくり連絡協議会事務局次長
事務局員	竹原 信夫	まちづくり連絡協議会副会長
事務局員	和田 健男	富屋地区市民センター
事務局員	阿久津 浩幸	富屋地区市民センター